

新しい年を迎え皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

●12月議会で市長はいよいよ**中核市**（政令指定都市に準じた事務が都から移譲される新都市制度。H6年より法制化）への平成12年移行の意志を表明しました。

地方分権の時代、自らの責任と権限で本市の特性を活かした街づくりが期待できるのは望ましい事ですが問題も山積です。

地方交付税の**不交付団体**である本市としては自前で財源確保をしなくてはならず、現段階の試算では**130億**の費用と保健所等の引受職員を含めて**150人**の人員増が必要とされ、行革の時代にそうまでして移行が必要かは疑問です。都の財政的支援がどうなるのか、人員増など当然なしで対応の方法がないか、そして何より職員のやる気はあるのか等、肩書きより中身の充実をはかる事を第一に私達議会は厳しい姿勢で取り組む事にいたしました。

●**病院対策特別委員長**として、今まで市内、近郊に施設がなく不便をかけていた**リニアック**（高エネルギー放射線治療装置）の八王子医療センター（館町）への導入補助を求めてまいりましたが、10年度から設置できる事になりました。

これで最新の高度医療が可能となり本市の**医療体制**が**一步前進**しました。

●慣れない大雪の対応で各課は大慌てでしたが、建設業協会と連携しての主要17路線の除雪の早さはみごとでした。一方、児童生徒の安全確保と翌日以降の授業に支障をきたさない準備（雪かき等）の為、1/16は全校休校にしましたが驚く事に小学校で2割、中学で5割の教職員が欠勤でした。

民間で働く皆さんには到底理解できない話です。